

# SAVONNERIE PATOUNIS 1850



JPN

## パトーニスの石鹼

「どんな石鹼が使われているのか。それは、その国の豊かさや文明度を計る尺度になる」(19世紀ドイツの偉大な化学者Justus Von Liebigの言葉)

パトーニスの石鹼は、父から息子へと5世代にわたって変わらずに受け継がれた伝統的な製造法のもと、現在も手作業で作られています。

その石鹼は、地元で作られるオリーブ製品からできています。

コルフ島にあるパトーニスの石鹼工場は、1891年から操業。コルフ島のオリーブ石鹼作りの見事な伝統を、そのままに残している工場です。

以下のタイプの石鹼が、ここで作られています。

- オリーブオイルソープ：原料はピュアヴァージンオリーブオイル。顔・ボディ用。
- グリーンオリーブソープ：原料はオリーブポマースオイル(オリーブ粕オイル)。実用的で個人的な用途に。
- オリーブパームソープ：原料はピュアヴァージンオリーブオイル80%、パーム核油(油やしの種子から圧搾法で得られる油。日本では食用にすることが多い)20%。より豊かな泡立ちの石鹼です。
- グリーンランドリーソープ：オリーブポマースオイルが原料の家事用石鹼。

これらの製品は、伝統的な石鹼作りに必要な基本的な材料だけを使い、添加物は使っておりません。